

事業用自動車に係る総合的安全対策検討委員会 概要

日 時：令和7年3月14日（金） 10:00～12:00

会議形式：対面会議（Web 会議併用）

出席者：野尻委員長、姉帯委員、石指委員、江坂委員、神谷委員、慶島委員、酒井委員、島委員（代理：西本）、坪田委員、寺田委員、永井委員、濱田委員、若林委員、

議事次第に沿って、事務局や各関係団体から資料の説明があった。各資料説明後、質疑・意見交換が行われた。委員から出された主な意見は以下のとおり。

議題・意見

- サポカー補助金等の効果により衝突被害軽減ブレーキが普及したおかげで新車の追突事故が大幅に減少したという話を聞いているが、新車以外についても追突事故を減らす必要がある。また、タクシーの出会い頭事故もなかなか減少していないため、ハード面の対策も必要と考える。
- 軽貨物の事故が急増しており、大型トラックと分けて対策を立てる方針は良いと考える。軽貨物事業者でも導入しやすい安価なデジタコやドライブレコーダ等を普及させる必要があるのではないか。次のプラン作成の際検討してほしい。
- バスの車内事故防止についてドライバーによる安全運転も重要であるが、高齢者が自身を守るためにも、例えば、停留所のある病院の待合室等において、乗る側に対して車内事故防止の啓発をしてもらいたい。また、バス停から発車しようとしているバスに対して一般車が無理な追い越しをかけることによって、バスが急ブレーキをかけ車内事故が発生する場合もあることから、運転免許更新の際における講習に、バス停付近で注意すべき走行等についても入れてもらいたい。
- タクシードライバーが不足していることから、今後も若い方の育成や高齢ドライバーの支援を続けてもらいたい。

以上